

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立御幣島小学校 学校協議会

1 総括についての評価

「豊かな心を持ち、未来を切り拓く子どもを育てる」という学校教育目標のもと、学校運営の中期目標の達成に向け年度目標を設定し1年間のふり返しをすることで、丁寧な取組を進めている。全市共通目標の達成までに届かない項目もあるが、概ね前年度を上回る結果となっている。落ち着いた状況の中で教育活動ができているのは、日ごろの教職員一人一人のきめ細やかな指導、そして、学年・学校全体として工夫しながら改善を重ねてきた結果であろう。ICT教育が進む中、スマホなどのSNSの使い方をどう指導をしていくか、保護者や地域とどう協力・啓発をしていくかなど、課題も見えてきた。地域としてはできる限りの協力をしていきたい。さらなる教科指導や学級経営などの教師力の一層の向上も期待する。児童が自分らしく過ごせる自己肯定感や自尊感情大切にした教育活動を、引き続き展開していくことを望む。

2 年度目標(全市共通・学校園)ごとの評価

【安全・安心な教育の推進】**全市共通目標 (小・中学校)**

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。

【昨年度 82.9%】【本年度 83.0%】

○本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を大阪市平均より上回る。

【今年度 75.3%】【R5年度大阪市平均 72.6%】

学校園の年度目標

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度より上回る。

【今年度 89.6%】【昨年度 84.6%】

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度より上回る。

【今年度 81.6%】【昨年度 77.6%】

小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、全市共通の目標数値にはわずかに昨年度よりは上回っており、今後も継続して取り組んでもらいたい。全教職員が人権コンプライアンス研修を受け、生活指導部会(いじめ対策委員会)や特別支援教育の連絡会(校内委員会)を定期的に行い、問題行動や児童理解の共有を図っており、それらのことが教職員の対応力の強化に繋がっている。今後も、保護者との関係を大切にしながら地域との連携も図ってもらいたい。校内においては各担任のみならず、より多くの教職員での見守りと情報共有を行い、組織的な対応をお願いしたい。今年度も、校外でのSNS等のトラブルが発生している。スマホの使い方は、学校だけでなく家庭との連携も大切で、SNSは便利で良い面もあるが、犯罪に巻き込まれたり、いじめにつながったりすることもある。小さいうちからの使い方の啓発が必要である。学校とPTA、地域で協力できることがあれば、連携をとっていく。また、学級・学年での遊び方のルールや学校のきまりを児童、教職員で再度確認し、共通理解をしていくことも大切である。「学校が楽しい」については、目標を大きく超えており評価できる。自己肯定感や自尊感情の高まる体験ができるように、さらに教育活動の工夫を期待する。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を昨年度より上回る。 【今年度 44.0%】 【昨年度 52.7%】

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。

【今年度：国 4 年 1.02・5 年 1.00・6 年 1.06、算 4 年 1.02・5 年 0.98・6 年 1.00】

【昨年度：国 4 年 1.03・5 年 0.97・6 年 0.98、算 4 年 1.01・5 年 0.99・6 年 1.01】

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を昨年度より上回る。

【今年度 72.1%】 【昨年度 75.4%】

学校園の年度目標

○校内調査における「学級の友達と話し合う活動を通じて、分かったことや気づいたことがありますか」に対して、肯定的な「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する児童の割合を 70%以上にする。 【今年度 89.9%】 【昨年度とは質問内容を変更】

今年度は、「自分の考えをもち、主体的に学ぶ子どもの育成～読み取る力を身につけ言語活動に活かす～」とし、研究に取り組み、特に、「読み取る力」に重点をおいたことで、小学校学力経年調査の結果からも、一定の成果が見られたことは評価できる。引き続き専科指導を推進し、より質の高い教科指導の充実を望む。小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、国語科ではどの学年も目標を上回った。だが、算数科では 3 学年中 1 学年のみが上回る結果だったので、来年度に向けて算数科の指導にも力を注いでほしい。

校内調査における「学級の友達と話し合う活動を通じて、分かったことや気づいたことがありますか」に対して、肯定的な「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する児童の割合は 89.9%で、昨年度を大きく上回った。ただ、小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は 44.0%で昨年度を下回っており、来年度に向けて有効な話し合い活動の模索も必要である。

小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は 72.1%で、昨年度をやや下回った。今年度は、なわとび週間だけでなく、なわとび検定週間などの新しい試みにも取り組んでいてよかったが、来年度に向けて、さらに体力の向上に努めていってほしい。

【【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

○授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の５０％以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ＩＣＴ活用が適さない日数を除く〕

【今年度 27.3%】【今年度からの質問内容】

○毎週１日以上、ゆとりの日を設定する。夏季・冬季休業期間中の学校閉庁日を３日以上設定する。

【今年度 3 日以上設定】【昨年度 3 日以上設定】

○年度末の教職員アンケートの「校内研修が充実していたと思うか」の項目について肯定的に答える教職員の割合を昨年度より上回る。

【今年度 90.5%】【昨年度 85.6%】

学校園の年度目標

○学習者用端末で、児童が「心の天気」「オンライン授業」「相談機能」「デジタルドリル」等の活用を併せて一日１回以上行うようにする。

【今年度 1 回以上実施】【昨年度 1 回以上実施】

○教職員の資質向上をめざし、授業研究を含む各種校内研修を月平均２回以上行う。

【今年度 月平均 2 回以上行実施】【昨年度 月平均 2 回以上行実施】

○教室の環境整備の目標として、児童の身長にあった使いやすい高さになるよう、年２回の調査を行い、適切な児童机・椅子を配備する。

【今年度 年 2 回実施】【昨年度 年 2 回実施】

授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数は年間授業日の 27.3% で、目標を下回ってはいるが、ほとんどの授業日で 8 割近くの児童が学習者用端末を活用している。今学校現場でも対応が大変なのは。今の調べ学習やプレゼンテーション、デジタルドリルなどの一人一台端末の活用や授業でのデジタル教科書の活用は年々進んでいるので、学校現場でも対応が大変なのは。さらに、タブレットの持ち帰りや休み時間の使用方法など、学校全体でのルールの共通理解を進めながら授業の対応を進めてほしい。

教職員の資質向上をめざし、授業研究を含む各種校内研修は月平均２回以上行った。また、年度末の教職員アンケートの「校内研修が充実していたと思うか」の項目について肯定的に答える教職員の割合は 90.5% で、昨年度を上回っており、本年度の結果を踏まえ、次年度に向けて改善していくところや工夫していくところをさらに模索していったきたい。

3 今後の学校園の運営についての意見

学校選択制で、本校を選ぶ人数が年々増えている。校舎が新しいという側面もあるが、日ごろの教職員の努力も大きい。今後も、人権教育を中心に考えながら、魅力ある御幣島小学校になるように、今年度の「運営に関する計画」の結果から分析をしっかりとしてもらい、来年度の学校運営に活かしていただきたい。

これから、丁寧で粘り強い対応を重ねると共に、学力だけでなく体力に関しても更なる向上を図ってもらいたい。また、教員の働き方改革についても、様々な取組の中で教育の質とのバランスを図りながら、教育活動を進めてもらうよう望む。